

ろうさい ニュース

令和4年

1月号

第449号

新年のごあいさつ

病院長 鈴木 茂彦

新年あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は前年から引き続き新型コロナウイルス(COVID-19)が世界中で猛威を振るいました。当院でもクラスターが発生し皆様にご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。また、ご支援いただきました医療機関の皆様には厚く御礼申し上げます。

5月末にクラスター終息後すぐに正常診療体制に戻すとともに、さらなる波に備えて感染病床を増床しました。浜松市内および近隣地区で最大の危機となった8月から9月にかけての第5波の際は増床が間に合い、感染症病床はフル稼働しました。さらなる感染者数増加に備えて次なる対策を検討し始めた頃、幸い急速に収束しました。

しかし、オミクロン株の出現などで世界的には再びパンデミックになっており、本邦でも年末から感染者数が急増し予断を許さない状況です。感染対策の徹底とクラスター再燃への備えを維持しつつ、コロナ後へ向けての新しい診療体制の構築を進めています。6月11日に健康診断部をリニューアルして移動し、複数の常勤医師体制を充実させました。健康診断部の移動で空いたスペースを利用して栄養指導室を拡充いたしました。6月25日に当院復興のシンボルとするべく職員からの公募で選んだ新しいロゴマークの使用を開始しました。人と人が寄り添い手を広げているように表現することで仁愛の心、ヒューマニズムをイメージし、現代アート風にスマートに表現することで進化する医療に対しアカデミックに対応していることをイメージしています。7月1日に岩本達治部長を迎え総合内科を充実させました。その他の診療科もさらなる充実を目指しており、今後ろうさいニュースで皆様方に広報させていただきたいと存じます。

当院は、中規模病院の利点を生かしアットホームでチームワークがよく、かつレベルの高い診療の提供を目指しています。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

副院長 河本 正昭

あけましておめでとうございます。新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍当院ならず皆さま大変なご苦勞であったとお察し申し上げます。お互いに支えあい耐えた経験は今後の財産になるものと思われま



さて、私は今年3月末にて定年を迎えます。思えば一般病院勤務ながら大学からの人的支援も得て、顕微鏡下手術のトレーニングをはじめとして多くの手術を学ばせてもらいました。

現在の整形外科は細分化されてきました。骨軟部腫瘍はその希少性ゆえ、以前から一般病院で診療することは稀でした。小児整形外科は、私が見習い時代は先天股脱を当たり前のよう

かくいう私は専門と呼ばれる領域を持たずにここまで来てしまいました。いろいろな手術法には貪欲に吸収してきました。まだ、元気なつもりですが、瞬時の判断力や長時間に及んだときの体力など、経年劣化は避けがたいことではあります。第2の人生をいうほど大げさなものではありませんが、取組みの浅かったリハビリの領域はおおいに極めていきたいと考えております。

4月から新しい部長に代わります。ECTRをはじめ手外科領域に精通しており、また、関節外科も専門にしており、当院の整形外科をレベル up してくれるものと期待しております。新年のご挨拶ですが、蛇足ながら私の定年のご挨拶も兼ねさせていただきました。皆様の今後のご健康とご発展を祈願しつつ筆を置きたく存じます。

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。

地域の皆様からの信頼に応え続けるために

「アットホームなハイクラスの病院」を理念に取り組んでいます。



新年のごあいさつ

副院長 西澤 純一郎



あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、深く感謝し、心より御礼申し上げます。

一昨年より、新型コロナウイルスにより、世間は一変し、特に医療への影響は非常に大きなものとなりました。

当院としましても、万全の感染対策を行いつつ、感染患者さんを受け入れて、通常の医療との両立に奔走しておりましたが、クラスターとなってしまい、その際には、皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。誠に申し訳ありませんでした。

さて、2021年末現在では、新型コロナ患者数などは、日本ではかなり抑えられているものの、特にヨーロッパなどでは、オミクロン株が猛威を振るっております。重症化しにくいともされておりますが、まだまだ油断できる状況ではなく、更に、もっと強力な新株や、他の感染症の流行などの可能性もあります。更に気を引き締め、万全の対策を行いつつ、皆様との連携をより密にして、患者さん受け入れの充実、高度で安全で心のこもった診療・看護を行い、地域医療支援病院としての責務を果たしてまいりたい所存でございます。

引き続き、皆様の、忌憚のなきご意見・ご指導をいただきますよう、お願いいたします。

皆様のご要望にお応えするべく、地域医療連携室の対応なども含め、更なる改善を前向きに検討しております。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

着任のごあいさつ

消化器内科医師 長尾 宗政



初めまして。

令和4年1月より、浜松労災病院でお世話になります消化器内科医師の長尾宗政です。出身は兵庫県です。滋賀医科大学を卒業後は兵庫県の病院で研修医期間を含め6年間勤務したのち、京都大学にて胆膵疾患の診療・研究に従事しておりました。

浜松での生活は初めてなので色々教えていただけると嬉しいです。まだまだ精進の日々ですが、浜松の皆様のお役に立てるように精一杯頑張りたいと思います。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

患者支援センター窓口

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

地域医療連携室	開業医の先生病院の先生からの紹介を受け付けている。 紹介元医療機関へ患者さんの受診の報告をしている。
入退院支援室	地域の医療機関、介護サービスの方々と連携し、入院・退院の支援を行っている。
医療福祉相談室	外来通院・入院されている方の病気に伴って生じる生活上の様々な問題について ソーシャルワーカーが相談を受けている。
治療就労両立支援	働く人が、がん・脳卒中・糖尿病でやむなく治療せざるを得ない状況になった場合、 就労に関する支援を行っている。



お気軽にお声かけください。

地域医療連携室よりお知らせ

日頃よりお世話になっている先生方に、当院の医療や病病・病診連携システム等について、評価していただき、今後のサービス向上に役立てたいと思いますので、アンケート調査を実施させていただきます。御協力くださいますようお願いいたします。

(令和4年2月調査予定です)

独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 地域医療連携室

受付時間 電話 053-411-0366 fax 053-411-0315

紹介患者の予約受付 月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00

